

令和7年3月28日

八潮市教育委員会 様

八潮市学校教育審議会
会長 榎本 隆

新設小学校の開校に伴う校名その他の開校準備の方向性について（答申）
令和5年7月12日付け八潮教学第276号で諮問のあったこのことについて、当審議会において慎重に審議した結果、次のとおり答申いたします。

答 申

1 校名等その他の開校準備に係る方向性

新設小学校の開校までにすべき準備には、校名のほか校章や校歌など様々な検討が必要であるが、これらは、専門的な知識や技術が必要であり、更にスケジュール管理が重要となってくる。

そのため、校名等その他の開校準備に係る方向性については、校名を当審議会で案を選定し、その他の事項については八潮市教育委員会で整理し、必要に応じて、適宜、適切に関係者や専門家の意見を聞きながら準備を進めることを求める。

2 新設小学校の校名案

八潮市立花桃小学校（やしおしりつはなもしょうがっこう）

3 校名案選定の経緯

（1）令和5年度 第1回八潮市学校教育審議会（令和5年5月24日）

①審議会の体制及び審議事項を整理

（2）令和5年度 第2回八潮市学校教育審議会（令和5年7月12日）

①諮問書を受理

②八潮市の学校教育の取組について整理

③新設小学校の設計コンセプトについて整理

（3）令和5年度 第3回八潮市学校教育審議会（令和5年8月9日）

①八潮市の学校教育の取組から新設小学校に期待する事項、望まれる教育実践、教育理念などについて各委員が提言し、内容を協議

（4）令和5年度 第4回八潮市学校教育審議会（令和5年9月27日）

①新設小学校に対する教育の方向性について「小中一貫教育の推進と八潮市の教育のモデルとなる教育の実践を期待する。」ことで整理

②校名の検討に向けて公募方法等を協議し実施を決定

③校名の選定に必要な項目について協議し、選定基準を策定

選定基準
(1) 小中一貫教育の推進など、八潮の教育のモデル校に相応しい校名であること。
(2) 児童や学区内、外の市民等にも親しみやすく、広く受け入れやすいこと。
(3) 校名から八潮の特徴が湧きやすいこと。
(4) 他の市区町村に類似の校名がなく、誤解されることのないこと。
(5) 言いやすく、発音しやすいこと。
(6) 読み方が難解ではないこと。

- (5) 校名公募実施（令和5年11月10日～12月11日）
 - ①公募結果：559名から202種類の応募
- (6) 令和5年度 第5回八潮市学校教育審議会（令和6年1月10日）
 - ①校名の選定方法について審議
 - ②202種類の校名候補案から選定基準に基づき得点化
 - ③選定結果：「茜」「圀」「花桃」「八潮」の4つを選出
- (7) 児童生徒アンケート（令和6年10月15日～10月23日）
 - ①大曽根小学校、大瀬小学校、潮止中学校の児童生徒に対し、選出した校名候補案のアンケートを実施
 - ②アンケート結果（回答数：1,659人 回答率：89.3%）
 - 「花桃：493票」「茜：479票」「圀：361票」「八潮：326票」
- (8) 令和6年度 第1回八潮市学校教育審議会（令和6年11月13日）
 - ①校名の選定方法について審議
 - ②選定基準及び小中学校のアンケート結果にも配慮した方法として、それぞれを得点化して投票する方法で決定。更に投票は2回実施
 - ③1回目の投票結果（出席委員11人が1人2票を投票）
 - 「花桃：10票」、「茜：6票」、「八潮：5票」、「圀：1票」
 - 上位2つの校名候補案で2回目の投票
 - ④2回目の投票結果（出席委員11人が1人1票投票）
 - 「花桃：9票」、「茜：2票」
 - 「花桃」を校名候補案に選出
- (9) 令和6年度 第2回八潮市学校教育審議会（令和7年3月28日）
 - ①答申案の作成及び八潮市教育委員会へ答申

附帯意見

新設小学校には、児童の学校生活における安全・安心を土台に、小中一貫教育を中心とした八潮市の教育の推進校になることを期待する。